

第6回 女性連合・私たちのひろば

2023年3月12日（日）14：00～15：30

司会：吉高路（会長）、記録：米本裕見子（幹事）

参加者：12名

資料：『世の光』2023年2月号「時代の転換点に立って」を

チェックイン：

自己紹介、女性連合との関わりから、①良かったこと、②これからへの期待

＊①人とのつながりがたくさん与えられたこと。世界とのつながりが与えられた。

②これからも学びながらつながっていきたい。

＊①実行委員となり、知り合いができてうれしかった。8年前は4人の役員が何とかなった。楽しい交わりを続けています。今回は、役員をやる人がいなくなった。実行委員をできない人が多く断れない自分になった。役員は3人になった。仕事が増えた、できるか自信がない心配。何でも聞いてみようと思う。ついていこうと思う。

＊①女子神学生・奨学生として全国の皆さんに支えてくださったこと。

女性大会で託児、澤友恵さんのコンサート。パートナーシップ伝道で香港へ。参加することで繋がってきた。②大事にしてきたこと+新しい人が多く参加できればよい。

＊女性大会で知り合いが増えた。福岡大会が楽しみ。

＊①自分・家族・教会の先の地方連合のことになると「お任せ」になる。女性連合のことまで自分のこととしてもらえるのは難しいと感じる。このような交わりが大事。女性連合は、ざっくばらんに話し合うことが大事になるのではないか。組織としての事務仕事が多くて、本当に大切な交わり、内容が深められないのは残念。仕事の簡略化が大切ではないか。参加者が楽しいものになるように。

＊親しみを覚え、心強く思っている。教会も担い手が少なくなってきて見直して、工夫をしている。新年度は役員の「書記」をおかないことにした。転換点、転換期をすごしている。

＊実行委員3年目を迎える。面白いと思っている。西関東は、役員は私一人。できないことは仕方がない。余裕を持って言えるようになった。無理して人を立てる必要はないと思えるようになった。できる形でできることを。『世の光』を読むことが楽しい。知らないことが知れた。例：「約束の虹ミニストーリー」のお話。

＊『世の光』編集実務。毎月締め切りに追われているが、喜んでもらえるのが嬉しい。

①多くの出会い、祈りあっていけること。これからの女性連合がどこに向かっていくのは気になるが、神様がそなえてくださっていることを思う。②何もしない年があってもいいのではないか。今年はこの特化する年があってもいいのではないか。

＊地方連合ではじめて役員をしている。これまでの支え、祈りに感謝。ZOOMで身近に感じる。3ブロックに持ち回りだが、係を担うことによって自分のことになるのでは、広がりがある。

＊「ひろば」にはできるだけ参加したい。①奨学生として関わり、実行委員3回目、実行委員になることは見えていなかったことが知られることで大きい。いろいろな方の声を聴きながら参加できることは大きい。『世の光』サロンは癒しだった。またやって欲しい。気楽に参加できるものがあるのは嬉しい。3月21日に地方連合の対面がある。アピールしたい。

＊女性会の方々にかわいがられて育ち30年関わってきた。転換期に来ているのを実感している。役員いなくて、活動が止まるのも仕方ないかなと思う。「前向きに変わる」こととしたい。「後ろ向きに変わる」ことにしたくない。できることを取捨選択していかなくてはならないと思う。

＊女性会のイメージが既婚者。奨学生になった。大変だけどそれ以上に恵みがあると背中を押された。出会いでいただく温かい思い。出会いと交わりの恵みが大きい。このネットワークを大切にしたい。祈祷週間、世界に目を向けるその先、女性たち、自分たちの立ち位置を学び、エンパワーを目指していければ。マンパワーを使わないで、ネットワークと働きを。「ひろば」も細々でも継続することに意味があるだろう。さらに広がるようにと願う。財政がひっ迫しているからどう対処するのか、という発想で考えてきたが、女性連合は何をしたいのか、何のための女性連合か、を考えなくてはならないだろうと最近思う。

司会：ポイント・キーワード：つながり、交わり、女性連合をわがこととするには、顔の見えることがあればぐっと身近になるのだろう、スリム化、担い手がいなくなっていることなど。実行委員の働きについて考え直すことも必要。笑いあって、交わって、楽しかった、よかったね、という思いが残れば。できないことは「できない」と言えるように。じゃあどうしようか考え合えれば、と思う。パートナーシップ伝道、アジアの女性たちと出会い、交わっていきたいと考えている。

問い：いろいろな課題がある。どうして行けば良いか。全国の皆さんのお知恵をいただきたい。2つのグループに分かれて、20分くらい話をしましょう。

(2グループでの意見)

・ざっくばらんに話し合えるような女性連合に。読書会、学び会、『世の光』を一緒に読む会。聖書の学び。離れていても分かち合い、励まし合えれば。

・青年大会のイメージ、女性大会でも分団をしたい。

・3月まで、他教会の方と『世の光』「例会プログラム」を読む会を持ってきた。違った視点が与えられ恵みの時だった。分団ができたならより親しみがわく。広がる。

・他教会との「『世の光』を読む会」は、どういうきっかけで始まったのか。

→女性会と祈り会をZOOMで行っていた。半年以上続いた。特に広めたわけではないが口コミで、最終的には4人で行った。

・「ひろば」に初めて参加できて嬉しい。入るには勇気が必要だった。みなさんと話ができるのがいいと感じた。このような「ひろば」が全国の女性会で気楽に参加できて、分かち合えればいいと思う。

・オンラインは個人よりサテライトの方が参加・お誘いしやすい。「心に鋏」の執筆者を囲む会などができれば嬉しい。

・ZOOMと対面希望が、でてきたのはよかった。前の「ひろば」は説明会のような感じだったから、人数が減ったのは疲れちゃったのか。地方連合でもZOOM集会ができるといい。

・これからの女性連合でやってみたいこと。『世の光』と一緒に読んで分かち合う会が持てればいい。すでに22年度に他教会のかたとやっている方もいた。「心に鋏」の執筆者をゲストにお迎えしたい。

・女性連合大会の時に、分団、グループで話し合い祈る機会を設けて欲しい。対面ならでは、集まった人たちと知り合えるような機会が欲しい。

・やりたいことを地方連合主催の企画に、他の連合も参加できるような形にできれば。

#### (1 グループでの意見)

・全体の話を受けて。女性連合と地方連合で担えないことを女性連合がフォローして地方連合の働きを薄くできれば。オンラインで気がるに参加できるが対面も大事、ハイブリッドがいいのでは。

「理念」をまとめるのは、羊羹のようにかちっと固めると「栗（キーワード）」が見えなくなる。まずキーワードを出して、全国の会員の方と考えるかどうか、という意見があった。

司会：もっと敷居を低くして、「世の光」を読む会ができればいいかもしれない。草の根的にオンラインをうまく使っていければいいのでは。スリム化しながら互いにつながれば良いだろう。

\* 「世の光」読書会を水曜午後月に一回、調整しながら行ってきた方がいた。